

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※皆さんでご覧ください。

第31号

令和5年7月1日
＜発行責任者＞
(住職) 藤野慶正

住職の仏々

皆さん、こんにちは。やっとコロナ禍の間から出てこられた感じでしょうか。マスクはまだ大手を振って外せない場面もあります。喉鼻を外界から守り風邪を引きにくいという利点もあります。要は考え方次第です。ただ、これからの季節、熱中等に注意する必要があります。前回の寺報に、境内の階段数を紹介し、ウォーキングをオススメしました。時折、歩いてみましたとお声がけくださることもあり、お寺という静かな場でゆつくり運動することを楽しんで頂けているようです。是非、境内ではマスクを外し新鮮な空気を味わいながらウォーキングを(笑)。とは言え、くれぐれも無理をなさらぬように。私もたま

にですが・・・掃除をしながら歩いたりしています。新たな発見があったり、頂上での景色は何ものにも代え難いものがありますよ。さて、今後の正山寺での行事ですが、昨年お伝えした通り8月の孟蘭盆会は行いません。11月の報恩講は昨年好評だった緑泉寺の青江覚峰氏に法話をお願いし勤修します。是非ご参加ください。また、後述しますが、8月に合同新盆法要を、檀家さん向けにペトのお墓を検討するなど、新たな試みも始動しています。コロナ禍になつてから長らく中止していた月例会も、参加しやすい日取りで内容もリニューアルし再開しようかと考え中です。ご案内出来る段階になりましたら、寺報等でお知らせします。また、何かご要望等ありましたら、HPのお問い合わせよりお気軽にお知らせ下さい。

合同新盆法要

8月13日15時から

お盆の入り、本堂にて合同の新盆(亡くなられてから初めてお盆を迎える方)法要を行います。

もちろん通常通り、個別の新盆法要(ご自宅・本堂共に)もお受けします。昨今、ご家庭の事情から個別に依頼するほどでもない新盆を省略される方もいらっしゃるようです。折角のご縁なので、気軽にお寺に来ていただいて、本堂の御本尊の前で合同の新盆法要を行うて頂くとういう趣旨です。今回初めての試みですので、どの程度ご依頼があるか分かりませんが、電話にてご依頼頂き、一家族の人数は4名位まで、お布施はお気持ち(1万円程度)で、とさせて頂きます。ご相談等ありましたらお気軽にご連絡下さい。

盆飾りは不要？

浄土真宗ではお盆の時期に盆飾りは必要ないと聞けど、本当なの？と不安になる方もいらっしゃるかと思えます。ご安心下さい。

浄土真宗の教えでは、亡くなられた方はもれなく極楽浄土に往生され私達を見守つて下さる仏様と成られております。また、私達の心にも戻つてきて幸せを念じて下さつてもおられます。ですので、お盆の時期はそのことに想いを巡らし感謝の気持ちでお過ごし頂くのが良いかと。仏壇には盆飾りではなく、お供物をされてはいかがでしょう。新盆は、初めてお盆を迎える家族が、仏様の教えに会い、お盆の由来を知り、仏様、ご先祖様に感謝するために行います。

維持費・管理費について

維持費・管理費をお支払い頂いている檀家さん(管理費は正山寺墓地使用者のみ)におかれましては、報恩講の時に持ち下さい。もちろん、お寺に来る機会(法事やお墓参り等)がありましたら、その時でも構いません。なお、世話人さんにお集め頂いている檀家さんは、世話人さんの都合にもよりますが、7月から10月の間にお集め頂きますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

人物紹介



正山寺にて
お住まいの旗野洋さん(6

昨年10月に責任役員に就任された、日野市平山にお住まいの旗野洋さん(66歳)を紹介します。洋さんは、穏やかで実直なお人柄、責任感や行動力もあり、皆からの信頼も厚く、とても頼もしい方です。

【職歴】JA勤務後、税理士事務所開業され、税の講師もされるなど忙しく活躍されているご様子

【趣味】ウォーキング、読書。

【日頃から心がけていること】仕事も暮らしも前向きに考えること

【座右の銘】ピンチの時もその問題から絶対逃げない!(逃げなければ道は開けると思っています)

【正山寺について】ご先祖様に会える場所、心安らげる場所であってほしいと思います。皆様のご指導ご協力により役割を全うしていきたいと思えます。有り難い数々の金言を頂きました。どうぞよろしくお願致します。

世話人会総会

5月下旬初夏の候、世話人会総会が開催されました。コロナ禍も落ち着き、昨年同様対面での開催となりました。



世話人会総会
の様子

新世話人の紹介、年中行事、ペットの紹介、維持費・管理費の収支決算報告などについて話し合い、全ての議決を経て無事に閉会となりました。ペットのお墓は、住職の肝いりでの提案でしたが、様々な意見が出され、良い方向にまとまりました。詳細は早ければ次回の寺報にて紹介出来ればと思っております。対面にて色々な話し合いが出来たことで、コロナ禍中の書面決議ではなし得ない有意義な総会となりました。

坊守のコラム

ぼうもり※住職の妻
通信をご覧頂いている方の中には、世話人さんで何だろう?と思われている方がいらっしゃるかもしれませんので、簡単に説明を。

正山寺には、一般扱いと世話人扱いの檀家さんがいます。世話人さんは現在25名。主な地区の代表として、言葉通り世話役となり、維持費を集めたり、相談に乗ったりと、ボランティアで寺と檀家さんの間に入り、取りまとめてくれています。時に、年中行事の準備や受付を手伝ってもらったり、寺の会議に参加してもらい、より良い環境作りに協力、貢献して頂くなど、本当に有り難い存在です。

話しは変わりますが、息子の近況でも。息子の通う小学校では、5年生になると、一年を通してお米づくりを学習します。他の学校でも、校庭の片隅で行う所もあるようですが、さすが小山田(笑)・学校の近くの農家さんに田んぼをお借りして、郊外での作業です。土を耕す時は、耕具ではなく、子供達の足。泥の中で走り回り、どろんこになりながらも本格的な田植えをして来たようです。学校前の道路を通ると、田んぼの様子が見えるので、こちらも楽しみ。まだ先ですが、秋には稲を収穫し、脱穀、精米し、お餅にして皆で食

すそうです。本当に貴重な体験です。何気なく食している食材も、一つ一つ丁寧に手間暇かけて作られているということ。忘れがちですが、大切な事を再確認出来る良い学習だな、と思いました。

あとがき

マスクを外せる機会も増えてきました。少し恥ずかしい気もしますが、これが本来の姿。相手の表情を見ながら会話も弾みそうですね。先日、息子が顔に泥をつけて帰ってきました。マスクなしで元気いっぱい田植えをして来たようで、嬉しそう。日常が戻ってきたと実感が湧く出来事でした。

寺報「ほっ寺通信」第31号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正(発行責任者)
住所：〒194-0201 東京都小平市上小山田町1-5-04
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net